

# 伸び悩む「ワンセグ」利用率

——情報通信サービスに関するアンケート調査から

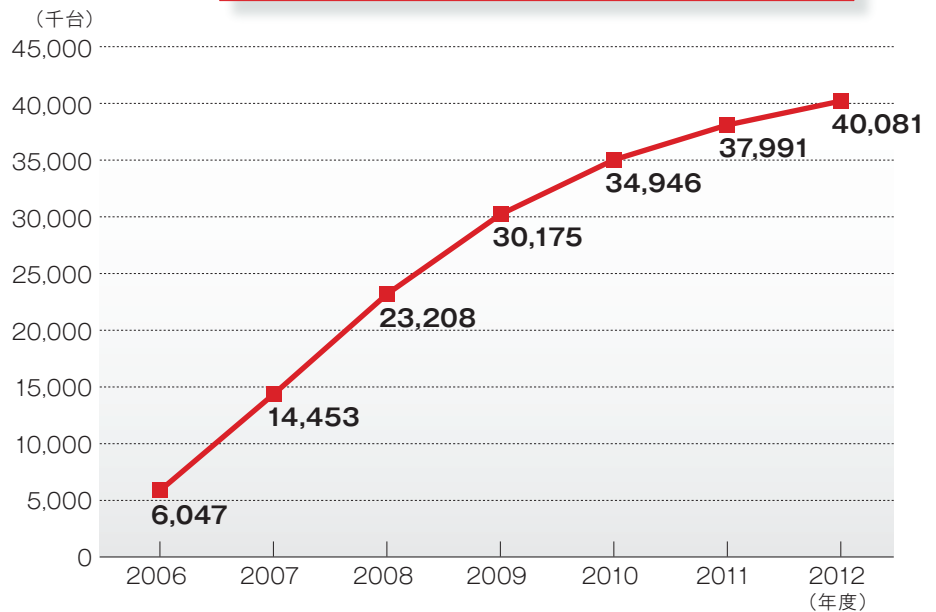
地上デジタル放送を携帯電話などで視聴できる「ワンセグ」サービスが始まったのは2006年4月。サービスの全国展開とともに、ワンセグに対応した携帯電話も普及の数を伸ばしています。NRIの予測では、2012年度末までにワンセグ対応の携帯電話は4,000万台に達する見通しです。

ところが、対応端末を持つ人は増える一方、ワンセグ自体の利用率は伸び悩んでいるようです。NRIが2007年8月に行ったアンケート調査では、ワンセグ対応の携帯電話保有者のうち、ワンセグを「ほぼ毎日」または「週4～5回」視聴している人は全体の14.8%にとどまっています。そのためサービスを提供する放送・通信事業者は苦戦を強いられています。

低調の一因に、ワンセグに義務づけられた「サイマル放送」があります。固定テレビ向け地上波放送と同一の内容を同時に流さなければならないとする規制です。この規制が緩和され、放送・通信事業者がワンセグならではの魅力的な番組を放送できるようになれば、「携帯でテレビを見る人」を、あちこちで見かけることになるでしょう。

## 移動体向け放送サービスに対応した携帯電話の普及台数予測

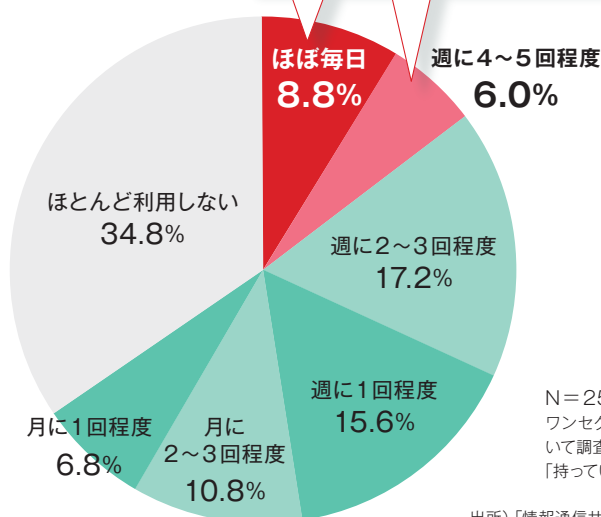
携帯電話の機種変更などをきっかけに  
毎年500～1,000万台以上の伸びが見込まれる



出所) 各種資料によるNRIの予測

## ワンセグ対応端末保有者のワンセグサービス利用状況

ワンセグを積極的に利用している人は  
まだ全体の1割程度にとどまっている



N=250  
ワンセグ対応携帯端末の保有状況について調査した中で(N=1,485)、「持っている」と回答した16.8%が対象

出所)「情報通信サービスに関するアンケート調査」  
調査期間=2007年8月17日～19日  
調査方法=インターネットアンケート